

その他冠動脈に関連する用語の定義

2019年10月～

- 1) 一過性冠動脈拡張(transient coronary arterial ectasia) :
経過中に小瘤以上の定義を満たしたものの、発症後29病日以内に小瘤以上の定義を満たさなくなったもの。
- 2) 退縮(regression) :
発症後30病日以降に冠動脈拡張性病変が画像診断上健常冠動脈と同等に復したもの。なお、組織学的正常化を意味するものではない。
- 3) 冠動脈狭窄性病変(coronary stenotic lesion)
冠動脈の狭窄性病変(stenotic lesion : SL)は、一般に心エコー検査で評価することは困難なことが多い。主として冠動脈造影所見で評価するが、CT、MRIでの評価も可能である。
 - a. 閉塞(occlusion : OC): 100%狭窄
 - b. セグメント狭窄(segmental stenosis : SS): 長い範囲の狭窄
 - c. 局所性狭窄(localized stenosis : LS): 程度を25%、50%、75%、90%、99%と表現する。
あるいは、高度(hg: 99~95%)、中等度(md: 90~75%)、
軽度(sl: 50~25%)、判定不能の場合には不定(ud)と表現する。
これらの狭窄性病変の基準は、旧厚生省班会議報告での冠動脈造影による判定方法に準拠している。